

最近の様子は・・・

三者面談を通して、1日1日みんなが成長していることがよくわかる。昨日久しぶりに取り組んだSTTライティング。落ち着いてとてもよく取り組んでいた。修学旅行の発表会も、3年間の取組の成果がとてもよく表れていた。今提出してくれている「諸活動の記録」も丁寧にしっかりと書かれている。受験に向けて、少しずつ意識が高まってきているようだ。

先生たちも、日々遅くまで資料の整理に追われている。すべては、みんなの進路が無事にミスなく終わるため。だから、お互いに心かよう進路を進めていきたい。思いやりのある進路を心がけてほしい。ここでいう思いやりとは、「資料を期日までに出す」「資料はまとめて出す」「進路にかかわる取り組みは早めにスタートする」「資料を渡すとき、一言『お願いします』と言葉を添える」「受け取るときに『ありがとうございます』と言葉を添える」などなど。特に、たくさんの高校を受験する人は、この心ある進路を忘れないでほしい。

高校は、受ければ合格する確率が上がるといった単純なものではない。例えば、都立推薦は倍率がかかなり高く、合格するより不合格になる可能性のほうが高い受験だ。しかし、一般入試はその逆。ほとんどの高校が合格する確率のほうが高い。そして何より、不合格の時の心のダメージは思ったよりも深い。

私立高校を多く受験する人も同じことがいえる。連日の受験は、心身ともに疲労する。だから、受ければいいというものではない。自分の進みたい道にあった学校を選び、自分の特性に合った受験方法を選ぶべきだ。

そして、一番大事なことはいつまでも悩まないこと。決断を早くすること。そうすれば、早く学習や面接、作文に取り組み始められる。気持ちも前向きになる。一歩前へ、早く歩み出そう！！

来週の予定

日にち		予定		時間割					備考	
7日	(月)	40	三者面談・普通救命救急講習	総	総	総	総	総	道	ジャージ登校 面談のある人は制服持参
8日	(火)	40	三者面談	②	①	③	④	⑤		
9日	(水)	A	三者面談終	①	②	③	④	⑤		
10日	(木)	A		②	①	総	総	⑤	道	
11日	(金)	A		②	①	③	④	⑤	総	都立願書等配布
12日	(土)	40	修学旅行保護者説明会	①	②	③	④			

保護者の皆様へ

- 都立高校の願書と受験料振込用紙は、来週配布します。記入前に、コピーを利用して記入の練習に取り組みます。また、都立の出願については、今年度は学校で一斉に行います。推薦入試の願書は、1月12日(火)までに回収します。詳細については、追ってご連絡いたします。
- 9年生の各クラスのTeamsに、先週行った「卒業生のお話を聞く会」の動画をアップロードしました。生徒のタブレットを通じてお時間のある時にぜひご視聴ください。

大成功！！「卒業生のお話を聞く会」

PTAの大きな協力を得て行われた、「卒業生のお話を聞く会」は、進路係の大活躍もあり、大成功で終わりました。前日の金曜日に1時間半をかけて行ったリハーサルが、すごく大きな意味をもちました。当日、緊張した面持ちでいた卒業生と、動画を流している間に入念な打ち合わせを行い、スムーズに進めることができました。動画班のチームワークもお見事。それぞれが自分の立場を理解し、臨機応変に動くことができました。ここで得られた貴重な話を、これからの進路に活かしたいですね。ご協力いただいたPTAの皆様、本当にありがとうございました。（敬称略）

STTライティング ～わかる(see)・考える(think)・伝える(tell)～

久しぶりにSTTライティングに取り組みました！！紹介します。

テーマ 「社会」

米国大手メディア「The Information」の報道によると、中国発大人気ショート動画プラットフォームのTikTokは、特許侵害でライバルの「Triller（トリラー）」を提訴した。

～関心をもった理由～

中国とアメリカがもめていることに前から目をつけていたから、このこともそれに関する、それぞれの理由と起きた原因と結果を探ると、今両国がどうなっているかがわかり、とても興味深い。世界で最も大きい両国がもめていることは、一大事だ。

～私の意見～

TikTokは、中華人民共和国の会社が開発運営しているモバイル向けショートビデオプラットフォーム。TikTokとTrillerとの間の闘争は激化しつつあり、先頃TikTokは、TrillerがTikTokとその親会社であるバイトダンスが所有する3つの特許を侵害しているとしてTrillerを相手取り訴訟を起こした。Trillerは今年7月、長年にわたり自社の特許を侵害使用しているとしてテキサス州西部地区の連邦地方裁判所にTikTokと親会社のバイトダンスを提訴したが、TikTok側は特許の侵害を認めず、申し立てられた損害賠償金は支払わないと発表していた。

もし侵害しているという事実があるのであれば、侵害側は謝罪と賠償をするべきであると思う。だが、どちらが本当に侵害したのかがわからないのが、重深いところである。世界でも強国である二国、どちらも核兵器を持っている中戦争が起こらないように、最後は平和に解決できてほしい。自分も世界の人と仲良くして行って、平和な世界を続けたいと思う。

テーマ 「社会・環境・科学」

TBMという企業が開発した新素材「LIMEX（ライメックス）」が今注目されている。LIMEXは石灰石を原料として、レジ袋や傘など様々なものに加工することができるので、プラスチックに代わる素材として話題になっている。また、SDGsへの取り組みとしても効果的で、これからの時代に必要不可欠になるかもしれない素材なのだ。

～関心をもった理由～

今年の七月からレジ袋が有料になり、様々な環境へ配慮した取り組みが注目されていた中、企業が進んで環境への取組をビジネスとして取り上げたのがとても興味深く、調べようと思った。

～私の意見～

私は、TBMの環境への取組をビジネスとして行ったことにとても驚き、感心した。今日は、多

くの企業が環境へ配慮した取組を行っている。大企業のホームページやパンフレットでは、その企業が工夫をしながら環境問題に取り組んでいることがよく紹介されている。もちろんその取組は大事なことで、社会にも大きく貢献していると思う。しかし、TBMは環境への取り組みそのものをビジネスとして、新素材を開発したのだ。私は、このことを知って衝撃を受けた。確かに、環境への取組は世間から求められているがそれでビジネスをするなんて全く思いつかなかった。とても斬新で、面白い発想だと思った。また、その発想を実現できる技術力に感心した。今やLIMEXはプラスチック以上に期待できる存在で、私たちの未来を救ってくれると考えられている。埋蔵量が多い石灰石に注目し、原料としたほぼ尽きることがない資源LIMEXはとても可能性のあるものなのではないだろうか。今までにないユニークなアイデアをどう生かすか、どう実行していくかを問われたときにそれが実現できる技術があるということはとてもすごいことなのだと思う。私もなにかやりたいことが思いついたとき、それを実現できる実力をこれから身に付けていきたいと思った。

テーマ 「社会・経済」

日本中で話題になった「Go To トラベルキャンペーン」。本来は日本の経済活動の活性化を狙った試みであったが、問題点が多かった。

～関心をもった理由～

最近ニュースを見ているときによく目にするのがやはり「Go To」という文字である。しかし内容はあまり上向きなものが少ないと感じ、何が問題となっているのか気になったから。

～私の意見～

「Go To トラベルキャンペーン」の目的は、コロナウイルスの流行収束後、影響を受けた日本各地の再活性化を目的とした官民一体化の観光需要喚起キャンペーンのことである。また、コロナで下向きになっている経済の発展も目的になっている。内容を見ればとてもいいはずなのに、なぜ多くの問題が出てきてしまうのだろうか。

まず最大の問題点として、政府が感染予防と経済活動の両立ができていない、さらに準備不足の中でこの政策を始めてしまったことだと思う。この現代の中で真っ先に考えるべきなのは感染予防の強化だろう。たしかに政府も経済について考えなければならない。しかし、国民がいなくては経済も成り立たない。案の定、「Go To キャンペーン」開始日から日本では感染者が大幅に増えている。さらに、このキャンペーンによって上向きになった事業は一部に過ぎない。ほかの地域に行ってそのお金を使っても、結局自分の居た地域に収益がなく、また、同じ額がぐるぐる回っているだけとも考えられる。よって、経済的活性化もあるとはあまり言えないことだ。

今回のこの政策は、政府の準備不足が招いた惨事といえると思う。この国を任せられているのだから、焦らず安全に行えるまで協議をしてから政策を始めるべきだったと思う。

テーマ 「社会」

あおり運転を厳罰化した6月の改正道路交通法施行後、全国で初めて逮捕され、道交法違反（あおり運転・著しい危険）などの罪に問われた住所不定、無職三浦貴正被告（47）に大分地裁は1日、懲役2年6月、執行猶予4年（求刑懲役2年6月）を言い渡した。

～関心をもった理由～

この頃よくニュースで未成年の無免許運転や、飲酒運転、この記事のようなあおり運転など、をよく目にしていたから。また、あおり運転での道路交通法は初めて知ったからです。

～私の意見～

あおり運転厳罰化のきっかけになった2017年6月の東名高速道路の事故で、三男夫婦を亡くした女性は「法律が改正され、罰則が強化されてもあおり運転はなくなっていない」と悔しい思いをしています。私は今社会科の授業で憲法について勉強しています。この記事を目にするまでは、法律やそれぞれのルールで取り締まれば重大になることはないと思っていました。しかし、その考えが甘かったのです。法律や憲法があっても犯罪が絶えない中、あおり運転で犠牲者が出ないわけがない。この記事のようにこんなに悔しい思いをされている方は、私が知らないだけで五万といるでしょう。あおり運転や、そのほかの事件や犯罪の加害者にならないためには、怒りなどの負の感情をコントロールすることが重要だと思います。実際に一般社団法人という「日本アンガーマネジメント協会」の方たちも、「あおり運転は、運転中に自分の意に沿わないことをされて怒り『やられたらやり返す』という報復心や独り善がりの正義感で起こることが多い」と指摘しています。常日頃からストレスをためずに、発散していく事からこのような悲しい事件を防げるのではないかと私は思いました。

社会に関心を寄せることで、文章の上達が目覚ましい。いろんなテーマを基にして、また新たな文章を書いてみよう！！